

緊張しながら110件を要望

みなさんの意見を町づくりに

第8回
地区別行政懇談会

道路・排水路の整備が5割

195人が出席



▶ハイビジョンホールで迫力満点の大画面を観るみなさん、雄大さや色彩の鮮やかさにも感心していました。

町民のみなさんの意見や要望を行政に反映させようとして行っている行政懇談会も第8回目を迎えました。9月28日の東陽地区から始まり、29日は南条地区30日は日吉地区、最終は10月3日白浜地区の日程で195人の方が参加して行われました。参加者は町内の主要事業、0103号線（母子から台へ通じる道路）・海老川沼・光工業団地・光海洋センター・図書館を視察し、会場の町民会館で町長から町の状況報告を受けました。その後、質疑応答形式により集落の要望・意見が出されました。発言者は、集落を代表しての発表に、緊張しながらマイクをもっていました。（各集落の意見・要望に対する回答は書面により、行政委員さんに送付します。）

総合的な回答

道路

要望に基づき計画的に

要望の多い道路の舗装・補修については、各集落の要望をもとに、計画的に事業を進めています。

国や県の補助事業でお願いしたり、集落のみなさんの協力をいただきながら直営舗装で、一部補修についても随時行っています。

建設課では、毎月1回「道の日」を設けて町内の道路を巡回しています。

人づくりと対話行政を積極的に

今、町は65歳以上人口が約20%となり、早足で高齢化が進んでおり、年金生活者が増加する中で高齢者が安心して暮らせる町づくりが求められております。

国にあつては、年金制度をどう充実させるかが大きな課題であり、地方自治体にあつては、特別養護老人ホーム等福祉施設の充実、若者の定住化の促進を図るなど数多くの課題があります。若者の定住化を促進するには雇用の場の確保等基本的な社会資本の整備が必要であり、健全財政を堅持しながら、人づくりと対話行政を基本とし各施策に積極的に取り組んで参ります。



町の状況報告